

日本化薬グループ情報セキュリティ対策方針

2025 年 6 月 26 日
情報リスク管理部会長

丹上晋司

日本化薬グループは、企業活動を通じて保有する情報が、重要な経営資源であることを認識し、情報セキュリティへの取り組みを経営における重要課題のひとつとして位置付け、継続的かつ組織的に情報資産を適切に保護できる体制を維持し向上するための対策方針を定めます。

（情報資産の保護）

日本化薬グループは、情報資産の資産的価値（機密性、完全性及び可用性）を脅かす脅威から、情報資産を適切に保護します。

（情報資産の共有）

日本化薬グループは、各国が定める法令及び指針、契約上の義務並びにその他の社会的規範を遵守し、事業活動に必要な情報を共有し、有効に活用します。

（規程類の整備）

日本化薬グループは、日本化薬グループ行動憲章・行動基準の定めに従い、保有する情報資産を管理する規程及び基準等を整備し、遵守します。

（体制の構築）

日本化薬グループは、日本化薬グループが保有するすべての情報資産を保護し、適切に管理を行うために必要な情報セキュリティを担う体制を構築し、各社及び各組織に情報セキュリティに関する責任者及びセキュリティに関する知識・技術を保有する人材を配置します。

（リソースの確保）

日本化薬グループは、情報セキュリティ対策方針を経営方針の一部として位置づけ、技術的及び物理的対策に必要な予算と人員を確保し適正に配分します。

（リスクの評価）

日本化薬グループは、サイバー攻撃等による情報漏洩や事業活動停止等を想定したリスクを可視化し評価することで、サプライチェーンも含めた対策を計画的に実施します。

（重大な事件・事故への対応）

日本化薬グループは、情報資産に関する重大な事件又は事故が発生した場合、速やかに対応して被害を最小限に抑えるとともに、原因の究明による再発防止の対策を講じます。

（教育・訓練の実施）

日本化薬グループは、従事するすべての関係者に対して、教育及び情報資産に対する重大な事件又は事故の発生を想定した訓練を定期的かつ継続的に実施することで、関係者の情報セキュリティのリテラシーの向上を推進します。

（継続的な取り組み）

日本化薬グループは、本方針を定期的な評価により見直し、情報セキュリティに対する取り組みを継続的に遂行します。

以 上